

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	国際的な沖縄観光ブランドの確立	施策	① 環境共生型観光の推進	
			施策の小項目名	—	
主な取組	やんばる型森林ツーリズム推進に向けた支援			実施計画記載頁	185
対応する主な課題	②沖縄の貴重な自然環境と観光振興を持続的に両立させるには、実態調査等に基づいた沖縄独自の環境負荷低減の地域における取組が必要不可欠である。また、観光利用による観光資源の劣化が見られる地域においては、市町村や地域が主体となって行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりの強化が課題である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
世界自然遺産候補地である国頭、大宜味、東のやんばる3村において、山村地域に固有の資源を持続可能な形で活用した観光による地域振興を図るため、3村で一体となった森林ツーリズムの推進に向けて各種支援を実施する。		全体構想の策定	全体構想の運用に向けた支援 (ガイド講習会の開催、モニタリング実施等)			
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	農林水産部森林管理課		【098-866-2295】			

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
やんばる型森林ツーリズム支援事業									
一括交付金(ソフト)	補助	—	—	—	—	7,612	12,170	一括交付金(ソフト)	○H30年度:やんばる3村森林ツーリズム部会が行う各種取組(テキスト作成、講習会の開催、モニタリングの実施、プロモーション活動等)への支援を行った。 ○R元(H31)年度:やんばる3村森林ツーリズム部会が行う各種取組(講習会、モニタリングの実施、プロモーション活動、持続可能な組織作り等)への支援を行う。
やんばる型森林ツーリズム推進体制構築事業									
一括交付金(ソフト)	委託	—	17,857	15,374	19,710	—	—		○H30年度: — ○R元(H31)年度: —

様式1(主な取組)

活動指標名	全体構想の運用に向けた支援の実施				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	支援の実施	支援の実施	100.0%	7,612	順調	<p>前身事業であるやんばる型森林ツーリズム推進体制構築事業において、全体構想を策定した。平成30年度はその全体構想の運用組織である、やんばる3村森林ツーリズム部会の行う①ガイド登録・認定に係るテキストの作成、及び講習会の開催②有識者を交えたモニタリング③プロモーション活動の実施等の取組を支援した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>やんばる3村森林ツーリズム部会の行う活動に対して補助金を交付し、全体構想の運用(①ガイド登録・認定に係るテキストの作成、及び講習会の開催②有識者を交えたモニタリング③プロモーション活動の実施等)が行われたため、進捗状況は順調とする。</p> <p>また、全体構想の運用が行われたことで、ガイド制度をはじめとする、森林の利活用と自然環境の保全の両立による持続可能な地域振興を目指した取組が実施された。</p>
活動指標名	全体構想の策定				H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	素案策定	案策定	策定済	—	—				
活動指標名	—				H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成30年度の取組改善案						反映状況				
<p>①事業スキームを補助に替え、地域が主体となって取り組むガイド講習会の開催、モニタリングの実施及び普及プロモーション活動等、全体構想で定めた制度等の適切な運用に向けた各種支援を実施する。</p> <p>②全体構想を運用するための組織となる協議会が平成30年度当初に設立されることにより、ツーリズムの推進体制の基盤が構築される。</p>						<p>①全体構想の適切な運用に向けて、やんばる3村森林ツーリズム部会の行う活動(ガイド登録・認定に係るテキストの作成、及び講習会の開催、有識者を交えたモニタリング、プロモーション活動の実施等)へ補助金を交付するなどの支援を実施した。</p> <p>②全体構想を運用するための組織である「やんばる3村森林ツーリズム部会」が平成30年5月に設立され、ツーリズムの推進体制の基盤が構築された。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・全体構想の適切な運用には、やんばる3村森林ツーリズム部会の行う活動への地域内外の理解と協力が必要である。

○外部環境の変化

・世界自然遺産登録に向けて、諮問機関であるIUCNが評価した結果、勧告事項として観光地域における適切な観光管理メカニズム等による訪問者管理計画の実施を追求することとの記載があるなど、本取組は世界自然遺産登録に向けて必要不可欠である。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・世界自然遺産登録にあたり、IUCNの勧告事項にあったとおり、策定された全体構想に基づいた適切な制度の運用が求められており、県としても世界自然遺産を推進する立場として、森林ツーリズムの推進に向け、より効果的なプロモーション活動を実施するなどの、やんばる3村森林ツーリズム部会の行う取組へ引き続き支援する必要がある。



4 取組の改善案(Action)

・全体構想の適切な運用に向けて、やんばる3村森林ツーリズム部会が行う各種取組(講習会の開催、モニタリングの実施、プロモーション活動、持続可能な組織作り等)への支援を行う。